



豊能町長
塩川 恒敏

「自然に抱かれた多様性・創造性で
未来が輝くまちづくり」をめざして

新年明けましておめでとうございます。令和5年は干支と十干では「癸(みずのこ)卯(う)」で更なる飛躍ができる年といわれ、皆さまにおかれましては、ご家族お揃いで希望に満ちた輝かしい新年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

昨年は、収まる気配のない新型コロナウイルス感染症のなか、住民の皆さまのご理解とご協力をいただきながら、感染拡大防止と地域経済活動の両立への取り組みを行ってまいりました。

人口減少や少子高齢化による経済の变化、情報化社会の進展など、地方自治体を取り巻く社会経済情勢が大きく変化するなかで、総合まちづくり計画に掲げた三つの基本指針「住民主役のまちをつくり出す」「ひとびとづくり」「未来の活力を生み出す」「しごとづくり」「緑の中で楽しく暮らせるまちづくり」のもと、一人ひとりが幸せを実感でき、将来にわたって住みたい、住み続けたいまちになるよう、今年も多様な施策を展開してまいります。

ご承知のとおり、本町の財政は、大変厳しい状況であり、持続可能な財政運営を行うため、限られた財源を最大限有効活用しながら、各施策・事業の選択と集中を徹底していくことが求められています。

施策の推進にあたっては、民間活力の利用、公民連携といった新たな課題解決の手法も取り入れ、「教育環境の充実」「子育て支援」「空き家対策・地域活性化」「地域農業の担い手育成」など、転入促進を図る持続可能なまちづくりに関して積極的に実施してまいります。

また、将来のまちづくりに最新のテクノロジーを融合させ、誰もがデジタルを活用した最適なサービスを享受することを目指した「豊能町スマートシティプロジェクト」を推進しています。

住民の皆さまの「不便」「不利」「不満」の解消と、社会課題・地域課題の解決を図るため、令和4年度は国の「デジタル田園都市国家構想推進交付金」を大阪府で唯一採択を受け、多くの先進技術・事例をお持ちの民間企業・大学とともに実証実験を行い、サービス実装に取り組んでいるところです。

今後の主な取り組みとしては、
○都市環境インフラ整備として、光風台中央公園のデジタル化、スマート化へ

リノベーション

新たな多世代コミュニティ、賑わい創造を目指した光風台中央公園のリノベーションオープンを記念して、1月にイベントを開催します。

○将来の最適な移動サービスを実現するための地域交通へ

2月に、西地区において「A-オンデマンド交通実証実験運行」を行います。

本年も、「子育てしやすいまちづくり」「高齢者にやさしいまちづくり」を推進が進め、子どもから高齢者まですべての方々が活躍できるまちを創ってまいります。その実現のためには、住民の皆さまの「協働」なくしては、実現できないと考えておりますので、より一層の町政へのご理解とご支援をお願い申し上げます。

結びに、皆さまにとりまして、幸多い実りのある一年となりますよう、祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

令和5年1月1日





豊能町議会議長
菅野 英美子

新年あけましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、輝かしい新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

平素は、豊能町議会へのご理解とご協力を賜わり、厚く御礼申し上げます。

新年を迎えるにあたり、豊能町のため、住民の皆さまのための議会となりますよう、さらに精進してまいる決意を新たにいたしました。

さて、ロシアによるウクライナへの侵攻は終わりが見えません。昨年3月に塩川町長と私、議長の連名でプーチン大統領へ抗議文を送つてもなく1年になります。世界経済・社会に及ぼす影響も大きくなっています。また、新型コロナウイルスの5回目接種も始まり、この冬は、インフルエンザの同時流行も懸念されています。これから自身・ご家族・周囲の大切な方々を守りながら、健やかな日々を過ごしていただきたく思います。

令和2年国勢調査の結果を受け、昨年、過疎地域として指定され豊能町過疎地域持続的発展計画を策定されました。町の上

位計画の「総合まちづくり計画」では、10年後の目標人口は1万5千人。持続可能なまち・豊能町の実現へ、デジタル田園都市国家構想推進交付金を活用してスマートシティ構想が進められています。ただ、住民に対して公平性を欠くことや説明不足のところもあります。議会では、企業主導で進めるのではなく、町・住民が利用しやすい事業展開をしていくこと、また、丁寧な説明を求めてまいります。

教育では、保幼小中一貫教育を進める中で、昨年4月から西地区よりも先に東能勢小学校の5・6年生は、東能勢中学校での授業が始まりました。全国学力・学習状況調査の結果で気になったのは、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴する時間が増えていることです。家庭での時間を大切に考えてほしいと思えました。また学校では、全国学力テストやよのチャレンジテストの結果を踏まえ、危機感を持って学力向上に取り組んでいただきたく思います。

ダイオキシンの廃棄物は、現在も旧双葉保育所建屋内などに仮置きしており、20数年前の問題がまだ解決していません。さらに公共施設再編に過疎債が使えらるということ、その計画を待つことになり、処理が先送りされました。議会は最終処分について、一日も早く処理ができるように引き続き

き協力してまいります。

議会では、さまざまな町政の課題について議員間で議論し、行政へ提言できるように努めてまいります。

昨年は3年ぶりに議会報告会をオンラインで実施しました。また、一般質問に加え、全ての本会議を放映するようになりました。タブレットの導入によるICT化・ペーパーレス化の取り組みもさらに進めてまいります。

2月には、町長選挙が行われます。財政難の中で、公共施設の再編・西地区こども園の設置・ダイオキシン廃棄物の処理など喫緊の課題が山積しています。公約をよく読んでいただき、しっかりと政策を示し、実行していただく候補者を選んでいただきたいと思っております。

結びに、本年が皆さまにとりまして、素晴らしい一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

令和5年1月1日



本会議のインターネット配信・議決の様子

